

12/3 玄旗



医療費負担2倍化やめて

厚労省前 高齢者座り込み開始

小池書記局長訴え

高齢期医療費が75歳以上の
後期高齢者の医療費窓口負
担2倍化をやめよといふこと
トニシルヒリハシトヘン、
東京医連労組健生
部会の書記次長・三井淳
一郎が反対の意を表す
る連ひ込み行動参加者
の件、東京書記が関
係する

誰もが安心して暮らせせる世の中の実現を求めて、日本高齢期運動連絡会は厚生労働省前で座り込みを開始しました。座り込みは今日までの日間行われます。

↓関連①面

日本高齢期運動連絡会の

葛谷正晃代表議員は、「コロナ禍で新自由主義や社会保障切り捨ての世の中では限界がきていたことが明確になつた。安心して生きられる権利が保障される社会にしたい」と力を込めました。

一郎さん(57)は「政府は社会保険の財源確保のためといって消費税増税したが、増税だけは單車費に行つてじるようだと思う。一体、政府はどんな方向でこののでしょか」と話しました。

日本共産党中央委員会の

局長と毎井亮衆院議員、伊藤岳、武田良介、山添知の各議院議員が座り込みました。

小池氏は、「高齢化の進展度合にかい異なり、わが国は社会保険給付の水準は相対的に低い」とする厚生省の報告を紹介しました。アレンペック委員の松平晃さん(78)は「高齢者が増え、医療費が増加していることは事実ではない。新型コロナが広がる中、最も重延化やすい75歳以上の医療費の倍化などなどでもない。力をあわせてベイブアップしましょ」と訴えました。